

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	職業倫理1（キャリアデザイン）			学科名	ホテル観光・ ビジネス学科	講師名	谷永 憲史
時間数	15	単位数	1			実務経験の有無	有
学年・学期配当		1 年次			2 年次	前期	後期 通期
目的・ねらい		社会人として習得しておくべき「仕事の基本」の意義を学ぶとともに、「キャリア形成」のプロセスを着実に歩んでいけるよう学生を支援する					
授業全体の 内容の概要		「自分を理解する」分析を行なうことで自己概念に気づき自己肯定感を高めていけるよう、毎回の授業で「学びのプロセス」をキーワードに、座学、Work ,実銭ロールプレイング、体験談等を織り交ぜ、実社会で自律できるよう進めていく					
授業修了時の 達成課題 （到達目標）		・キャリアと仕事へのアプローチに関する基本的な事項について理解する ・仕事の基本となる8つの「意識」についての基本的な項目について理解する					
指導計画	回	形態	内 容				
	1	講義・実銭	授業の意義、目的・ロールプレイング「笑顔トレーニング」				
	2	講義・Work	自分を理解する・セルフワーク {自己概念} 「自己肯定感」 「自分を知る」				
	3	講義	働く意識				
	4	講義	仕事への取り組み方				
	5	講義	会社の基本とルール				
	6	講義・Work	仕事に関する「意識」・セルフワーク「学びのプロセス」				
	7	講義・実銭	顧客意識・ロールプレイング「身だしなみ」				
	8	講義	1～7復習				
	テキスト・参考図書等		2025年版 B検 「ビジネス能力検定ジョブパス」3級公式テスト 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 監修				
評価方法		筆記試験50% 出席率25% 授業態度25%で総合評価					

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	職業倫理 2			学科名	ホテル観光・ ビジネス学科	講師名	谷永 憲史	
時間数	15	単位数	1			実務経験の有無	有	
学年・学期配当		1 年次		2 年次		前期	後期	通期
目的・ねらい		ビジネス知識、ビジネスマナーに留まらず、上司、部下、同僚への、常に仕事の場面を想定した実践的な能力を習得していく						
授業全体の 内容の概要		様々な職種間の仕事の進め方、取引先やお客様との対応、円滑なコミュニケーションの方法、問題発見、解決を具体的な事例を上げて授業にて進めていく						
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		・ 仕事についての基本的な取り組み方、進め方の知識の取得 ・ 必要最低限のコミュニケーション能力の取得						
指導計画	回	形態						
	1	講義	仕事の正確性・計画性について					
	2	講義	定型業務・非定型業務とは					
	3	講義・ロープレ	面接演習（入室・退室・面接官とのやりとり）					
	4	講義	効率的・合理的な仕事の進め方とは					
	5	講義	スケジュール管理と情報整理					
	6	講義・ロープレ	電話対応の実践					
	7	講義・ロープレ	ビジネス文書の書き方の実践					
	8	講義	総括 まとめ					
テキスト・参考図書等		2025年版 B検 「ビジネス能力検定ジョブパス」3級公式テスト 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 監修						
評価方法		筆記試験50% 出席率25% 授業態度25%で総合評価						

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	国際文化比較論			学科名	ホテル観光・ ビジネス学科	講師名	荒川 宣昭
時間数	30	単位数	2			実務経験の有無	無
学年・学期配当		1 年次		2 年次	前期	後期	通期
目的・ねらい		文化の多様性を理解することにより、相互理解と国際社会での共存を目指す。					
授業全体の 内容の概要		日本と自国の文化の違いや共通点を歴史・言語・宗教・生活習慣などを通して比較・研究する。					
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		日本と自国の文化の違いや共通点を理解し、日々の日本での生活を戸惑わず円滑におくれるようにする。					
指導計画	回	形態					
	1	講義	国際文化比較の意義（文化とは）				
	2	講義	挨拶・マナー				
	3	講義	食事・食文化				
	4	講義	生活習慣				
	5	講義	表現・コミュニケーション				
	6	講義	価値観				
	7	講義	芸術				
	8	講義	年中行事				
	9	講義	歴史				
	10	講義	宗教				
	11	講義	社会システム				
	12	講義	政治・経済				
	13	講義	スポーツ				
	14	講義	娯楽				
	15	講義	まとめ				
テキスト・参考図書等		参考図書：比較文化辞典（増補改訂版）					
評価方法		試験50%、出席率25%、授業態度25%で評価する。					

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	観光概論			学科名	ホテル観光・ ビジネス学科	講師名	荒川 宣昭	
時間数	30	単位数	2			実務経験の有無	無	
学年・学期配当		1 年次			2 年次	前期	後期	通期
目的・ねらい		観光の歴史、意義や目的、および経済効果などを学ぶとともに、広島市の歴史・観光魅力を学ぶことで、より広島を好きになり広島のホテル・旅館で働きたいと思う生徒を支援する。						
授業全体の 内容の概要		本校卒業後にホテルなど観光産業に携わるに際して必要となる観光の歴史、魅力、経済効果などの事項について、日本全国の現状や課題について学ぶとともに、広島市の観光の現状や課題について学ぶ。						
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		・観光の歴史や経済効果など観光に関する基本的な事項について理解する。 ・日本とりわけ広島の観光の現状や課題を概ね理解する。						
指導計画	回	形態	内 容					
	1	講義	観光の歴史					
	2	講義	インバウンドとアウトバウンド					
	3	講義	インバウンドの現状と課題					
	4	講義	観光のもたらす様々な効果					
	5	講義	観光を構成する3要素					
	6	講義	持続可能な観光					
	7	講義	観光と輸送機関					
	8	講義	観光と宿泊業					
	9	講義	観光と観光施設					
	10	講義	観光と旅行業					
	11	講義	ニューツーリズム					
	12	講義	観光情報					
	13	講義	日本の観光資源					
	14	講義	広島の観光の現状と課題 1					
	15	講義	広島の観光の現状と課題 2					
	テキスト・参考図書等		「留学生のための観光学入門」					
評価方法		試験50%、出席率25%、授業態度25%で評価する。						

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	ITリテラシー1			学科名	ホテル観光・ ビジネス学科	講師名	山本 圭佑			
時間数	30	単位数	2			実務経験の有無	ITインストラクター業務			
学年・学期配当		1年次			2年次	前期			後期	通期
目的・ねらい		Word・Excel・PowerPointの基本的な操作を身に付け、社会における基礎PCスキル習得を目指す								
授業全体の 内容の概要		Word・Excel・PowerPoint・メール等の基本的操作の学習								
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		Word・Excel・PowerPoint・メール等の基本的操作の学習								
指導計画	回	形態	内 容							
	1	講義	タイピング リテラシー 教室の使用について							
	2	講義	タイピング Wordの基本的な操作・文書作成							
	3	講義	タイピング Wordの基本的な操作・文書作成							
	4	講義	タイピング Wordの基本的な文書作成 画像の取り扱い							
	5	講義	タイピング Wordの基本的な文書作成 画像の取り扱い							
	6	講義	タイピング Wordの基本的な文書作成 表の取り扱い							
	7	講義	タイピング Wordの基本的な文書作成 レイアウト							
	8	講義	タイピング Word ビジネス文章作成							
	9	講義	タイピング Word ビジネス文章作成							
	10	講義	タイピング Wordの総合演習							
	11	講義	タイピング Wordの総合演習							
	12	講義	タイピング Excel 基本操作							
	13	講義	タイピング Excel 四則演算							
	14	講義	officeソフト総合演習							
	15	講義	officeソフト総合演習							
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 有・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。 レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。							
テキスト・参考図書等		なし								
評価方法		実施された授業コマ数の1/3以上を欠席すると定期試験の受験資格を失うため、管理を徹底すること。成績評価は、実技試験、出席状況をもって判定する。授業の進捗状況によって、授業内容を一部変更する場合がある。								

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	ホテル実務 1			学科名	ホテル観光・ビジネス学科	講師名	牧野恭一
時間数	30	単位数	2			実務経験の有無	有
学年・学期配当		1 年次			2 年次	前期	後期 通期
目的・ねらい		お客様満足獲得の為「おもてなし」の基本知識を学ぶ。					
授業全体の内容の概要		幅の広いホテル業務の基礎を学ぶ。ホテルの存在意義、どんな部署があるのか、部署毎での基礎業務知識を身につけ、お客様に喜んでいただける接客マナーを学び働く意義、使命は何かを自覚する。ホテルと旅館の違いについても学習する。					
授業修了時の達成課題（到達目標）		顧客満足獲得の為の基本知識を学ぶことにより顧客から好感を持たれることを目標とする。					
指導計画	回	形態	内 容				
	1	講義	ホテル観光ビジネス学科の全体オリエンテーション再確認－1。自己紹介。				
	2	講義	お客様と顧客－1。				
	3	講義	お客様と顧客－2。				
	4	講義	ホテルの誕生と歴史。				
	5	講義	お客様に好感をもっていたただける挨拶（言葉と動作）。ホスピタリティと「おもてなし」。				
	6	講義	” 気くばり” によって、お客様に満足していただく。				
	7	講義	” 気配り” の事例。				
	8	講義	” 気配り” の事例試験。				
	9	講義	” 心くばり” によって、お客様に感動していただく。				
	10	講義	” 心配り” の事例。				
	11	講義	” 心配り” の事例試験。				
	12	講義	ビジネスとコミュニケーションの基本－1－①働く意識。				
	13	講義	ビジネスコミュニケーションの基本－1－①試験。				
	14	講義	ビジネスコミュニケーションの基本－1－②仕事への取り組み方				
	15	講義	ビジネスコミュニケーションの基本－1－②試験。				
テキスト・参考図書等		2025年度版B検ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト。特定技能1号評価試験「宿泊分野」学習用テキスト。					
評価方法		授業内での筆記試験、小テスト、演習試験により評価。 筆記試験50%、出席率25%。演習試験25%。					

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	ホテル実務演習－１			学科名	ホテル観光・ ビジネス学科	講師名	牧野恭一
時間数	30	単 位 数	2			実務経験の有無	有
学年・学期配当		1 年次			2 年次	前期	後期 通期
目的・ねらい		お客様満足獲得の為「おもてなし」の基本知識を実践演習する。					
授業全体の 内容の概要		ホテル実務１で学んだことを活用してさらに高度なホテルスタッフになることを目指し、各部署 毎での仕事内容を具体的に実践演習する。					
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		顧客満足獲得の為の基本知識を実践演習する。顧客から好感を持たれることを目標とする。					
指導計画	回	形態	内 容				
	1	講義	ホテル観光ビジネス学科の全体オリエンテーション再確認－１。自己紹介。				
	2	演習	「お客様」と顧客－１。				
	3	講義	「お客様」と顧客－２。				
	4	講義	ホテルの誕生と歴史。				
	5	講義	「お客様」に好感をもっていたただける挨拶（言葉と動作）。ホスピタリティと「おもてなし」。				
	6	演習	” 気くぱり” によって、お客様に満足していただく。				
	7	講義	” 気配り” の事例。				
	8	演習	” 気配り” の事例試験。				
	9	講義	” 心くぱり” によって、お客様に感動していただく。				
	10	演習	” 心配り” の事例。				
	11	講義	” 心配り” の事例試験。				
	12	演習	ビジネスとコミュニケーションの基本－１－①働く意識。				
	13	講義	ビジネスコミュニケーションの基本－１－①試験。				
	14	演習	ビジネスコミュニケーションの基本－１－②仕事への取り組み方				
	15	講義	ビジネスコミュニケーションの基本－１－②試験。				
テキスト・参考図書等		2025年度版B検ビジネス能力検定ジョブパス３級公式テキスト。特定技能１号評価試験「宿泊分野」学習用テキスト。					
評価方法		授業内での筆記試験、小テスト、演習試験により評価。 筆記試験５０％、出席率２５％。演習試験２５％。					

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名 時間数	レストランサービス概論1			学科名	ホテル観光・ ビジネス学科	講師名	小出慶子	
	30	単 位 数	2			実務経験の有無	有	
学年・学期配当		1年次			2年次	前期	後期	通期
目的・ねらい		レストランサービスに関する豊かで正確な業務知識や接客技術、サービス技術を習得する。						
授業全体の 内容の概要		「レストラン業務の基礎」をベースに、知識や技術を「知る・理解する・出来る」ようになるまで指導していく。 おもてなしとなる心得のところも落とし込んでいく。						
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		1年次は、「知る・理解する」をテーマに、幅広く講義していき、知識を広げ興味・関心を持ってもらいます。						
指導計画	回	形態	内 容					
	1	講義・演習	自己紹介、レストランサービスとは？					
	2	講義・演習	レストランサービス時の心構え					
	3	講義・演習	レストランサービス時のマナー 1. 身だしなみ					
	4	講義・演習	レストランサービス時のマナー 2. 接客の基本動作					
	5	講義・演習	レストランサービス時のマナー 3. 言葉遣い					
	6	講義・演習	テーブル・サービス 分類その1					
	7	講義・演習	テーブル・サービス 分類その2					
	8	講義・演習	メニューの知識 語源					
	9	講義・演習	メニューの知識 役割					
	10	講義・演習	メニューの知識 種類					
	11	講義・演習	サービス業務の手順 予約応対					
	12	講義・演習	サービス業務の手順 開店前の業務					
	13	講義・演習	サービス業務の手順 開店中の業務					
	14	講義・演習	サービス業務の手順 閉店後の業務					
	15	講義・演習	テスト					
	テキスト・参考図書等		レストラン業務の基礎 一般財団法人 日本ホテル教育センター					
評価方法		定期試験50%・出席状況25%、授業参加姿勢25%により判断し、総合点により秀・優・良・可・不可の評価を決定する。						

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	レストランサービス演習1			学科名	ホテル観光・ビジネス学科	講師名	山本真世
時間数	30	単位数	2			実務経験の有無	有
学年・学期配当	1年次			2年次		前期	後期 通期
目的・ねらい	レストランサービスの基本に関する具体的な業務知識とサービスの基本技術を習得する。						
授業全体の内容の概要	「レストラン業務の基礎」をベースに、知識や技術を「知る・理解する・出来る」ようになるまで指導していく。 おもてなしとなる心得のところも落とし込んでいく。						
授業修了時の達成課題(到達目標)	1年次は、「知る・理解する」をテーマに、幅広く講義していき、知識を広げ興味・関心を持ってもらう。そして、お客様との一期一会の魅力を感じるような接客ができるように教育する。						
指導計画	回	形態	内 容				
	1	演習	自己紹介、レストランサービス演習について				
	2	演習	テーブルクロスのかけ方				
	3	演習	ナプキンの折り方				
	4	演習	食器類のセッティング ア・ラ・カルトのセッティング				
	5	演習	食器類のセッティング フルコースのセッティング				
	6	演習	食器類のセッティング 朝食用・昼食用・着席後のセッティング				
	7	演習	トーションのかけ方、サービストレイの持ち方のポイント				
	8	演習	グラスウェアの扱い方のポイント				
	9	演習	飲み物の注ぎ方				
	10	演習	ナイフ・フォーク・スプーンの取り扱い方				
	11	演習	皿の持ち方・配り方・下げ方				
	12	演習	サーバーの使い方・料理の盛り付け方				
	13	演習	覚えておきたい基礎知識				
	14	演習	総復習				
	15	演習	テスト				
テキスト・参考図書等			レストラン業務の基礎 一般財団法人 日本ホテル教育センター				
評価方法			定期試験50%・出席状況25%、授業参加姿勢25%により判断し、総合点により秀・優・良・可・不可の評価を決定する。				

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	ビジネスマナー・接遇 1			学科名	ホテル観光・ビジネス学科	講師名	松本 夕子	
時間数	30	単位数	2			実務経験の有無	有	
学年・学期配当		1 年次			2 年次	前期	後期	通期
目的・ねらい		サービス業に必要な「接遇マナー」「コミュニケーション能力」「ホスピタリティ精神」を理解し、実践できる力を養う。						
授業全体の内容の概要		本授業では、サービスとホスピタリティの本質を理解し、接客現場で求められるマナー・言葉遣い・対応力・チームワークなどの基礎を身に付ける。ホテル・観光・サービス業に共通するマナーや「おもてなしの心」を、演習やロールプレイを通じて実践的に学ぶ。						
授業修了時の達成課題（到達目標）		1. 社会人としてふさわしい立ち居振る舞いができる 2. 正しい敬語を使える 3. 接客の基本動作を実践できる 4. クレーム対応や臨機応変な対応ができる 5. ホスピタリティの本質を理解し行動に反映できる						
指導計画	回	形態	内 容					
	1	講義	「寄り添う心」とおもてなし					
	2	講義	共感・傾聴の表現					
	3	講義	お客様の気持ちに寄り添う対応					
	4	講義	意見・要望・クレームへの対応					
	5	演習	総復習・ホテル接客ロールプレイ					
	6	講義	サービス接遇の基本とサービススタッフの資質					
	7	講義	サービス知識					
	8	講義	従業員知識① ホテル業務の基礎					
	9	講義	従業員知識②・一般知識					
	10	講義	対人技能① コミュニケーションと接遇					
	11	講義	対人技能② 敬語・接遇用語					
	12	講義	対人技能③ 話し方・聞き方・立ち居振る舞い					
	13	講義	問題処理・お客様対応、ホテル業務と社交業務					
	14	講義	サービス接遇検定3級 総合演習・総復習					
	15	講義・演習	後期期末試験にむけての総復習					
テキスト・参考図書等		おもてなしの日本語、サービス接遇検定公式テキスト 3 級						
評価方法		定期試験 5 0 %・出席状況 2 5 %、授業参加姿勢 2 5 %により判断し、総合点により秀・優・良・可・不可の評価を決定する。						

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名 時間数	ホスピタリティー実務			学科名	ホテル観光・ ビジネス学科	講師名	松本 夕子		
	30	単 位 数	2			実務経験の有無	有		
学年・学期配当		1 年次		2 年次	前期			後期	通期
目的・ねらい		「心をこめたおもてなし」「感動接客」ができるようになる							
授業全体の 内容の概要		本授業では、ホスピタリティーの本質を理解し、接客現場で求められるマナー・言葉遣い・対応力・チームワークなどの基礎を身に付ける。ホテル・観光・サービス業に共通するマナーや「おもてなしの心」を、演習やロールプレイを通じて実践的に学ぶ。							
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		1. ホスピタリティーの意味と重要性を理解できる。 2. 現場で必要なマナー・言葉遣い・立ち居振る舞いを実践できる。 3. お客様対応・クレーム対応の基本を身に付ける。 4. チームワークを重視した職場マナーを理解し行動できる。 5. 「心をこめたおもてなし」「感動接客」ができる社会人としての基礎を養う。							
指導計画	回	形態	内容						
	1	講義	自己紹介、ホスピタリティーの定義、おもてなしの心とはなにか？						
	2	講義	おもてなしの心 接客で必要なお辞儀						
	3	講義	人間関係構築 第一印象の大切さ						
	4	講義	人間関係構築 あいさつの仕方・表情						
	5	講義	心配り お客様への案内と誘導の仕方（心配りの観点から）						
	6	演習	心配り 誘導 お部屋までご案内します						
	7	講義	相手を思う心 相手のことを考えて確認する						
	8	講義	相手を思う心 一歩進んだ対応						
	9	講義	迅速な対応 一歩進んだ対応						
	10	講義	迅速な対応 すぐに確認いたします						
	11	演習	迅速な対応 電話対応、伝言メモ作成						
	12	講義	寄り添う心 お客様の意見や不満に対する傾聴・共感						
	13	講義	寄り添う心 クレーム対応						
	14	演習	社会人としての心構え、勤務先への電話のかけ方						
	15	講義	学期期末試験に向けて総復習						
テキスト・参考図書等		おもてなしの日本語							
評価方法		定期試験50%・出席状況25%、授業参加姿勢25%により判断し、総合点により秀・優・良・可・不可の評価を決定する。							

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	ビジネス実務			学科名	ホテル観光・ ビジネス学科	講師名	牧野恭一
時間数	30	単位数	2			実務経験の有無	有
学年・学期配当		1 年次		2 年次		前期	後期 通期
目的・ねらい		宿泊施設で「お客様」のお出迎えからお見送りまでの業務知識を知る。					
授業全体の 内容の概要		①予約管理、②チェックイン業務、③施設管内での対応と情報提供、④チェックアウト、⑤会計業務。					
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		「お客様」が予約から滞在、チェックアウトに至るまでの滞在中、満足していただくことで次の予約を確保する。					
指導計画	回	形態	内 容				
	1	講義	ホテルの勤務体制。スタッフの名称と役割。ホテルの業態。旅館、民泊、ビジネスホテル、ラグジュアリーホテル、リゾートホテル、他。				
	2	講義	広島県内のホテルを調べる。①予約管理とは。				
	3	講義	「お客様」役、ホテルスタッフの相互演習。予約電話の対応。客室販売エージェントとは。				
	4	講義	②チェックイン業務とは。フロントカウンターにて「お客様」がレジカードに記入。「お客様」役、ホテルスタッフの相互演習。				
	5	演習	チェックイン会計（現金、クレジットカード、電子マネー、売掛、他）－1。チェックイン会計（現金、クレジットカード、電子マネー、売掛、他）－2。				
	6	講義	「お客様」役、ホテルスタッフの相互演習。③施設管内での対応と情報提供とは。				
	7	講義	ホテル内施設とは。ホテル内施設にかかわる試験。				
	8	演習	「お客様」役、ホテルスタッフの相互演習。④チェックアウトとは。				
	9	講義	「お客様」のお見送り。また来ていただく。⑤チェックアウト会計業務とは。主にラグジュアリーホテル。				
	10	講義	「お客様役」、ホテルスタッフによるチェックアウト会計業務の相互演習。客室の清掃業務とは。清掃道具、客室備品、ベッドメイキング。				
	11	演習	客室清掃、ベッドメイキング。ホテルの朝食とは。和食、洋食、ブッフェ。				
	12	講義	「お客様」役、ホテルスタッフの相互演習。ルームサービスとは。				
	13	講義	「お客様」役、ホテルスタッフの相互演習。クレーム対応とは。				
	14	講義	「お客様」役、ホテルスタッフの相互演習。ホテルの広報業務とは。				
	15	演習	ホームページの作成。				
テキスト・参考図書等		2025年度版B検ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト。特定技能1号評価試験「宿泊分野」学習用テキスト。					
評価方法		授業内での筆記試験、小テスト、演習試験により評価。 筆記試験50%、出席率25%。演習試験25%。					

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	リスクマネジメント			学科名	ホテル観光・ビジネス学科	講師名	牧野恭一
時間数	30	単位数	2			実務経験の有無	有
学年・学期配当		1年次2年次			前期	後期	通期
目的・ねらい		「お客様」の安全を確保し、「お客様」に安心していただき、信頼を得る。					
授業全体の内容の概要		安全を損ねる災害事故を未然に防ぎ、万一事故が起きた場合は被害を最小にする為の施策。					
授業修了時の達成課題（到達目標）		災害事故の予防、事故後の施策を知識として身に着けることでお客様に安心していただく。					
指導計画	回	形態	内 容				
	1	講義	「お客様」の安全を確保するとは。事故の予防（施設内でのケガ、食中毒、自己の健康管理、他）。				
	2	講義	「お客様」に安心していただき、信頼を得るには。衛生対策とは。				
	3	講義	自己の健康管理ついて。手洗い、検温、他。				
	4	演習	手洗い、検温、他。				
	5	講義	安全衛生管理とは。具体的な衛生管理。				
	6	演習	具体的な衛生管理の実施。				
	7	講義	整理と整頓。				
	8	演習	不要物の廃棄。必要なものをそろえる。				
	9	講義	安全衛生管理とは。清掃について。				
	10	講義	レストランの開店準備。				
	11	講義	安全衛生管理とは。清掃について。				
	12	講義	レストランの開店準備。				
	13	講義	レストランの閉店準備。				
	14	講義	「お客様」の安全まとめ。				
	15	講義	「お客様」の安心まとめ。				
テキスト・参考図書等		ホテル公衆衛生管理 日本ホテル教育センター出版					
評価方法		試験70％・出席率30％					

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名 時間数	料飲サービス1			学科名	ホテル観光・ ビジネス学科	講師名	三浦恭子	
	30	単 位 数	2			実務経験の有無	有	
学年・学期配当		1年次			2年次	前期	後期	通期
目的・ねらい		ホテルやレストランで必要な料飲サービスの基礎知識と実践力を身に付け、現場で安心・安全・丁寧なサービスができる人材を育成することを目的とする。						
授業全体の 内容の概要		ホテル及びレストランにおける料飲サービスについて、講義と実習を通して学ぶ。日本のサービス文化やホスピタリティの考え方を理解するとともに、現場で必要となる基本動作・接客日本語・衛生管理を段階的に習得する。						
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		料飲サービスの役割と業務内容を理解して、基本的な接客マナーとサービスマインドを身に付けることができる。そして、テーブルセッティング、配膳・下膳など、料飲サービスの基本動作を実践できる。食品衛生及び安全管理の重要性を理解し、適切な行動ができるようになる。						
指導計画	回	形態	内 容					
	1	講義・演習	自己紹介、料飲サービスについて					
	2	講義・演習	食前酒・食後酒・白ワイン・赤ワイン・ビール等					
	3	講義・演習	衛生管理 食中毒とは					
	4	講義・演習	衛生管理 食中毒の予防					
	5	講義・演習	苦情処理 苦情の種類・処理の基本・事例					
	6	講義・演習	ルームサービス					
	7	講義・演習	コーヒーショップ					
	8	講義・演習	バーの基本知識 料飲部門におけるバーの位置付け					
	9	講義・演習	バーの基本知識 バースタッフの役割と心得					
	10	講義・演習	バーの基本知識 バーサービスの手順					
	11	講義・演習	バーの基本知識 苦情処理					
	12	講義・演習	接客マナーとサービスマインド					
	13	講義・演習	覚えておきたい基礎知識					
	14	講義・演習	総復習					
	15	講義・演習	テスト					
テキスト・参考図書等		レストラン業務の基礎 一般財団法人 日本ホテル教育センター						
評価方法		定期試験50%・出席状況25%、授業参加姿勢25%により判断し、総合点により秀・優・良・可・不可の評価を決定する。						

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	料飲サービス 2			学科名	ホテル観光・ ビジネス学科	講師名	三浦恭子	
	時間数	30	単位数			2	実務経験の有無	有
学年・学期配当		1年次			2年次	前期	後期	通期
目的・ねらい		ホテルやレストランに必要な飲料サービスを更なる実践的な知識・技術を身につける。お客様から信頼される人材の育成を目的とする。						
授業全体の 内容の概要		ホテルやレストランに於ける飲料サービスに関連しての料理を講義を通して理論付け、実習を通して学ぶ。日本の”おもてなし”文化やホスピタリティサービスの基本を理解して、更に実践できるように指導する。それぞれの現場にて、必要となる基本動作・接客日本語・施設管理・衛生管理を段階的に習得する。						
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		料飲サービスとホスピタリティサービスの連携が良く理解されて、基本的な接客マナーと接客マインドが身につけている。テーブルセッティング、配膳・下膳や料飲サービスが実践できている。衛生管理・安全管理・施設管理・道具管理の基本知識が身に付け適切な行動ができるようになる。						
指導計画	回	形態	内 容					
	1	講義・演習	食前酒・食中酒・食後酒の場面毎の効用。					
	2	講義・演習	食前酒・食中酒・食後酒の場面毎の役割。					
	3	講義・演習	各種グラス毎の飲料サービス技術。					
	4	講義・演習	朝食飲料について。					
	5	講義・演習	昼食ビュッフェ飲料について。					
	6	講義・演習	夕食アラカルト飲料について。					
	7	講義・演習	ブライダル飲料について。					
	8	講義・演習	ブライダル乾杯飲料について。					
	9	講義・演習	コーヒーショップ飲み放題飲料について。					
	10	講義・演習	飲料飲み放題のマナー。					
	11	講義・演習	各種飲料の温度管理。					
	12	講義・演習	食中毒予防と衛生管理					
	13	講義・演習	客席全般の安全管理。					
	14	講義・演習	施設全般の安全管理。					
	15	講義・演習	テスト					
	テキスト・参考図書等		レストラン業務の基礎。 一般財団法人 日本ホテル教育センター					
評価方法		定期テスト50％・出席状況30％・授業参加姿勢20％により判断。総合点にて 秀・優・良・可・不可の評価を決定する。						

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	ブライダル実務			学科名	ホテル観光・ビジネス学科	講師名	山本真世
時間数	15	単位数	1			実務経験の有無	有
学年・学期配当		1年次		2年次	前期	後期	通期
目的・ねらい		ブライダルサービスの演習基本に関わる具体的な業務知識と接客サービスの基本技術を習得する。					
授業全体の内容の概要		「レストラン業務の基礎」から導き出されるベースに、ブライダルサービスの知識や技術を「知る・理解する・できる」ようになるまで、指導していく。日本独特のブライダル形態・マナー心得を習得できるようにする。					
授業修了時の達成課題（到達目標）		1年次年間を通してレストランサービス演習を繰り返して、ブライダル実務との連携により、お客様満足が得られる接客実務を会得する。					
指導計画	回	形態	内 容				
	1	実務・演習	ブライダルとは。				
	2	実務・演習	ブライダルセレモニーとは。				
	3	実務・演習	日本に於けるツライダルの歴史				
	4	実務・演習	キリスト教のブライダル				
	5	実務・演習	ブライダルの種類				
	6	実務・演習	挙式のスタイル				
	7	実務・演習	婚礼部門の組織と役割				
	8	テスト					
	テキスト・参考図書等		ブライダル総論 一般財団法人日本ホテル教育センター				
評価方法		定期テスト50％・出席状況30％・授業参加姿勢20％により判断。総合点にて 秀・優・良・可・不可の評価を決定する。					

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	基礎英語 1			学科名	ホテル観光・ ビジネス学科	講師名	武田 和子
時間数	60(30)	単位数	2			実務経験の有無	有
学年・学期配当		1 年次			2 年次	前期	後期 通期
目的・ねらい		総合的な英語力の向上					
授業全体の 内容の概要		今や『世界共通語』となった英語を体系的に理解するために文法を意識的に学ぶことは、英語を母国語としない学生達にとって非常に重要なことである。4技能（聞く、話す、読む、書くこと）すべての根幹になる。					
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		英検3級以上の知識と学習力を目標とする。 また、英文法や長文読解の判別のポイントを説明できる力を養う。					
指導計画	回	形態	内 容				
	1	演習	Starter: Reflection & Goal Setting 英語学習の目標設定／日本のことを英語で伝えるために				
	2	講義・演習	Greeting & Manners 日本式の挨拶とマナー／ホテルでの基本的な挨拶				
	3	講義	英語の基本構造 主語・動詞・目的語／基本文の作り方				
	4	講義	動詞の種類・文型 自動詞・他動詞／第1～第5文型				
	5	講義	Seasonal Events in Japan 日本の季節と行事を英語で表現する				
	6	講義	文の種類 肯定文・否定文・疑問文・命令文				
	7	講義	Popular School Events 日本の学校行事を英語で説明する				
	8	講義	時制と相① 現在形・過去形・未来表現				
	9	講義	時制と相② 進行形・現在完了形／時間を表す表現				
	10	講義	Eating in Japan 日本の食事・料理・食文化を英語で説明する				
	11	講義	助動詞① can・will・must・mayなどの基本用法				
	12	講義	ホテルで使う助動詞 許可・依頼・必要・提案などの表現				
	13	講義・演習	Sightseeing 日本の観光地・忍者・日本文化を英語で紹介する				
	14	講義	名詞① 可算名詞・不可算名詞・単数・複数				
	15	講義	名詞②・代名詞 人・物・場所を表す名詞と代名詞				
	テキスト・参考図書等		Real-time JAPAN in Basic English (Asahi Press)				
評価方法		認定試験、授業内での小テストによる総合評価 筆記試験70点、小テスト(提出物、授業の積極性含む態度)20点、出席率10点 合計100点					

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	基礎英語1			学科名	ホテル観光・ ビジネス学科	講師名	牧野 恭一	
時間数	60(30)	単位数	2			実務経験の有無	有	
学年・学期配当		1 年次			2 年次	前期	後期	通期
目的・ねらい		総合的な英語力の向上						
授業全体の 内容の概要		今や『世界共通語』となった英語を体系的に理解するために文法を意識的に学ぶことは、英語を母国語としない学生達にとって非常に重要なことである。4技能（聞く、話す、読む、書くこと）すべての根幹になる。						
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		英検3級以上の知識と学習力を目標とする。 また、英文法や長文読解の判別のポイントを説明できる力を養う。						
指導計画	回	形態	内 容					
	16	講義	Ancient Agriculture 伝統に根ざした日本の農業について読む・説明する					
	17	講義	不定詞① 名詞的用法・形容詞的用法・副詞的用法					
	18	講義	不定詞② ホテル・観光業界で使われる不定詞表現					
	19	講義	動名詞 動名詞の基本用法／不定詞との違い					
	20	講義・演習	ホテルの仕事と英語 ホテルスタッフの仕事内容を英語で表現する					
	21	講義	Politics 日本の政治のしくみを題材にした英文読解					
	22	講義	能動態・受動態 基本的な受動態の使い方					
	23	講義	ホテル・観光と受動態 「～される」「～で作られる」などの表現					
	24	講義	英文読解① 短い英文の読み方／主語・動詞・重要語句の確認					
	25	講義	英文読解② ホテル・観光に関する英文を読む／要点を把握する					
	26	演習	英語コミュニケーション① ホテルでの基本的な接客英語／挨拶・案内					
	27	演習	英語コミュニケーション② チェックイン・チェックアウトの基本表現					
	28	演習	英語コミュニケーション③ 道案内・観光案内・簡単な質問への対応					
	29	総合演習	総復習 文法・語彙・読解・ホテル英語の総合確認／試験対策					
	30	試験	前期末試験					
	テキスト・参考図書等		Real-time JAPAN in Basic English (Asashi Press)					
評価方法		認定試験、授業内での小テストによる総合評価 筆記試験70点、小テスト(提出物、授業の積極性含む態度)20点、出席率10点 合計100点						

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	基礎英語 2			学科名	ホテル観光・ ビジネス学科	講師名	武田 和子	
時間数	60(30)	単位数	2			実務経験の有無	有	
学年・学期配当		1 年次			2 年次	前期	後期	通期
目的・ねらい		総合的な英語力の向上						
授業全体の 内容の概要		今や『世界共通語』となった英語を体系的に理解するために文法を意識的に学ぶことは、英語を母国語としない学生達にとって非常に重要なことである。4技能（聞く、話す、読む、書くこと）すべての根幹になる。						
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		英検3級以上の知識と学習力を目標とする。 また、英文法や長文読解の判別のポイントを説明できる力を養う。						
指導計画	回	形態	内 容					
	1	講義	能動態・受動態① 能動態と受動態の基本を理解する					
	2	演習	能動態・受動態② 基本例文の確認／ホテル・観光分野の表現練習					
	3	講義	Economy① 時代を映す日本経済／経済に関する基本語彙					
	4	講義	Economy② 日本経済に関する英文読解／内容を英語で確認する					
	5	講義	接続詞Ⅰ① and・but・or・because・soなど基本的な接続詞					
	6	講義	接続詞Ⅰ② 接続詞を使った英文作成／短文読解					
	7	講義	Sports① 大会を盛り上げるサポーター／スポーツに関する語彙					
	8	講義	Sports② スポーツに関する英文読解／内容を説明する					
	9	講義	接続詞Ⅱ① when・if・although・thatなどの用法					
	10	講義	接続詞Ⅱ② 複文・長文読解／接続詞を意識して英文を読む					
	11	講義	Changes in Japanese Sports① 日本人が好きなスポーツ／スポーツ文化					
	12	講義	Changes in Japanese Sports② 日本のスポーツの変化について英文で理解する					
	13	講義	比較級Ⅰ① 比較級・最上級の基本					
	14	講義	比較級Ⅰ② as～asなどの比較表現／基本英文の練習					
	15	講義	Favorite Places to Visit① おすすめの観光地／観光に関する英語表現					
	テキスト・参考図書等		Real-time JAPAN in Basic English (Asahi Press)					
評価方法		認定試験、授業内での小テストによる総合評価 筆記試験70点、小テスト(提出物、授業の積極性含む態度)20点、出席率10点 合計100点						

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	基礎英語 2			学科名	ホテル観光・ ビジネス学科	講師名	牧野 恭一
時間数	60(30)	単位数	2			実務経験の有無	有
学年・学期配当		1 年次		2 年次	前期	後期	通期
目的・ねらい		総合的な英語力の向上					
授業全体の 内容の概要		今や『世界共通語』となった英語を体系的に理解するために文法を意識的に学ぶことは、英語を母国語としない学生達にとって非常に重要なことである。4技能（聞く、話す、読む、書くこと）すべての根幹になる。					
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		英検3級以上の知識と学習力を目標とする。 また、英文法や長文読解の判別のポイントを説明できる力を養う。					
指導計画	回	形態	内 容				
	16	演習	Favorite Places to Visit② おすすめの観光地を英語で紹介する				
	17	講義	比較級Ⅱ① 比較級・最上級の応用表現				
	18	講義	比較級Ⅱ② ホテル・観光地・サービスを比較する英文練習				
	19	講義	Japanese Cooking① 日本食は「うまみ」が決め手／日本食の語彙				
	20	講義	Japanese Cooking② 日本料理に関する英文読解／日本食を英語で説明する				
	21	講義	関係代名詞① who・which・thatの基本用法				
	22	講義	関係代名詞② 関係代名詞を使った英文作成・読解				
	23	講義	Japanized Foreign Culture① 日本化した外国文化／文化に関する語彙				
	24	講義	Japanized Foreign Culture② 日本化した外国文化について英文で理解・説明する				
	25	講義	関係副詞① when・where・whyの基本用法				
	26	講義	関係副詞② 関係副詞を使った英文読解／ホテル・観光分野での活用				
	27	講義・演習	英文読解総合① これまで学習した文法・語彙の総復習				
	28	講義・演習	英文読解総合② ホテル・観光に関する英文を読み、要点をまとめる				
	29	演習	Project: Treasures of Japan 日本の宝物・観光資源を英語で紹介する				
	30	試験	学年末試験				
	テキスト・参考図書等		Real-time JAPAN in Basic English (Asashi Press)				
評価方法		認定試験、授業内での小テストによる総合評価 筆記試験70点、小テスト(提出物、授業の積極性含む態度)20点、出席率10点 合計100点					

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026 年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	ホテル英会話Ⅰ			学科名	ホテル観光・ビジネス学科	講師名	中田小百合
時間数	60(30)	単位数	2			実務経験の有無	有
学年・学期配当		1 年次2 年次			前期後期通期		
目的・ねらい		ホテルにおいての英語、日本語の基礎固めと基本接客					
授業全体の内容の概要		単に『英語が話せるホテルマン・ウーマン』ではなく、『日本文化の文脈（コンテキスト）を理解した、世界レベルのプロフェッショナル』を目指していく。そのために、伝わる英語、日本語を理解し、使うことができる人材を目指す。					
授業修了時の達成課題（到達目標）		単に『英語が話せるホテルマン・ウーマン』ではなく、『日本文化の文脈（コンテキスト）を理解した、世界レベルのプロフェッショナル』を目指していく					
指導計画	回	形態	内 容				
	1	講義	オリエンテーション・日本の「おもてなし」				
	2	講義	身だしなみ・立ち居振る舞い・お辞儀（第一印象の徹底）				
	3	講義	身だしなみ・立ち居振る舞い・お辞儀（第一印象の徹底）				
	4	講義	接客の基本用語（用語の暗唱と発声練習）				
	5	講義	接客の基本用語（用語の暗唱と発声練習）				
	6	講義	フロント・ベル業務の基本（出迎え・案内・荷物の預かり）				
	7	講義	フロント・ベル業務の基本（出迎え・案内・荷物の預かり）				
	8	講義	フロント・ベル業務の基本（出迎え・案内・荷物の預かり）				
	9	演習・実習	前半の総復習（ロールプレイング）				
	10	講義	（レストラン・料飲サービス（席への案内・注文の取り方））				
	11	講義	（レストラン・料飲サービス（席への案内・注文の取り方））				
	12	講義	（レストラン・料飲サービス（席への案内・注文の取り方））				
	13	講義	施設案内・道案内（学内や近隣の地図を使っでの実践）				
	14	演習・実習	ホテルのフロントでの会話				
	15	試験	前期実技試験（基本の挨拶とチェックインの基礎）				
テキスト・参考図書等		Japanese For Hotel Staff サービス日本語 ホテルスタッフ編					
評価方法		口頭試験40%、筆記試験40%、クラスへの取り組み 20%					

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026 年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	ホテル英会話Ⅰ			学科名	ホテル観光・ビジネス学科	講師名	中田小百合	
時間数	60(30)	単位数	2			実務経験の有無	有	
学年・学期配当		1 年次		2 年次		前期	後期	通期
目的・ねらい		ホテルにおいての英語、日本語の基礎固めと基本接客						
授業全体の内容の概要		単に『英語が話せるホテルマン・ウーマン』ではなく、『日本文化の文脈（コンテキスト）を理解した、世界レベルのプロフェッショナル』を目指していく。そのために、前期に引き続き伝わる英語、日本語を理解し、使うことができる人材を目指す。						
授業修了時の達成課題（到達目標）		単に『英語が話せるホテルマン・ウーマン』ではなく、『日本文化の文脈（コンテキスト）を理解した、世界レベルのプロフェッショナル』を目指していく。						
指導計画	回	形態	内 容					
	16	講義	フロント・ベル業務の基本（出迎え・案内・荷物の預かり）					
	17	講義	フロント・ベル業務の基本（出迎え・案内・荷物の預かり）					
	18	講義	フロント・ベル業務の基本（チェックアウト）					
	19	講義	フロント・ベル業務の基本（チェックアウト）					
	20	講義	観光の案内（バス・タクシー・ツアー）					
	21	講義	観光の案内（バス・タクシー・ツアー）					
	22	講義	観光の案内（バス・タクシー・ツアー）					
	23	講義	レストラン・料飲サービス（席への案内・注文の取り方）					
	24	講義	レストラン・料飲サービス（席への案内・注文の取り方）					
	25	講義	レストラン・料飲サービス（席への案内・注文の取り方）					
	26	講義	レストラン・料飲サービス（席への案内・注文の取り方）					
	27	講義	館内のご案内・対応（ギフトショップ、クローク、ルームサービス）					
	28	テスト	後期テスト1					
	29	テスト	後期テスト2					
	30	演習・実習	会話テスト					
	テキスト・参考図書等		Japanese For Hotel Staff サービス日本語 ホテルスタッフ編					
評価方法		口頭試験40％、筆記試験40％、クラスへの取り組み 20％						

形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	英語実務（TOEIC） 1			学科名	ホテル観光・ ビジネス学科	講師名	武田 和子
時間数	120(30)	単位数	4			実務経験の有無	有
学年・学期配当		1 年次		2 年次		前期	後期 通期
目的・ねらい		国際語、世界共通語としての英語の運用能力の向上					
授業全体の 内容の概要		TOEICで取り扱っているトピックの多くはビジネスに関連したもので、その学習を通じてより実践的な英語を身につける。また、日常生活において効果的にコミュニケーションをとるベースとなる英語能力を涵養する。					
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		英検3級以上、TOEIC300以上の知識、学習力を目標とする。					
指導計画	回	形態	内 容				
	1	講義	オリエンテーション・自己紹介①授業の進め方、英語学習の目標、基本的な自己紹介表現				
	2	講義	自己紹介②名前・出身・所属・趣味などを使った自己紹介、ペア練習				
	3	講義	人物の様子や動作①人物の外見・様子・動作を表す基本表現				
	4	講義	人物の様子や動作②一般動詞の基本と現在形・過去形などの動詞の変化				
	5	講義	疑問詞を使う問いかけ①Who / What / When / Where / Why / How の基本				
	6	講義	疑問詞を使う問いかけ②疑問詞と動詞の組み合わせ、適切な動詞の形				
	7	講義	店頭での会話①店・買い物で使われる基本的な会話表現				
	8	講義	店頭での会話②動詞に関連する語句の補充、実践的な買い物会話				
	9	講義	案内放送①公共施設・駅・空港などの案内放送を聞き取る				
	10	講義	公共施設の掲示文②掲示・注意書き・案内文の読解、必要な情報の把握				
	11	講義	物の様子や位置①物の状態・位置・数量を表す表現				
	12	講義	時と場所の前置詞②in / on / at / by / near / between などの使い分け				
	13	講義	Yes/No疑問文①be動詞・一般動詞を使った疑問文の基本				
	14	講義	Yes/No疑問文②疑問文・否定文を使った会話練習				
	15	講義	つなぎのことは①and / but / or / so / because などの接続詞				
テキスト・参考図書等		・ TOEIC BRIDGE テスト完全攻略編 ・ はじめてのTOEIC L&Rテスト 本番模試 ・ TOEIC Test 準備 自作プリント					
評価方法		認定試験、授業内での小テスト等による総合評価 筆記試験70点、小テスト(提出物、授業の積極性含む態度) 20点、出席率10点 合計100点					

※形態は、講義・演習・実習(施設/企業等)

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	英語実務（TOEIC） 1			学科名	ホテル観光・ ビジネス学科	講師名	武田 和子
時間数	120(30)	単位数	4			実務経験の有無	有
学年・学期配当		1 年次		2 年次		前期	後期 通期
目的・ねらい		国際語、世界共通語としての英語の運用能力の向上					
授業全体の 内容の概要		TOEICで取り扱っているトピックの多くはビジネスに関連したもので、その学習を通じてより実践的な英語を身につける。また、日常生活において効果的にコミュニケーションをとるベースとなる英語能力を涵養する。					
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		英検3級以上、TOEIC300以上の知識、学習力を目標とする。					
指導計画	回	形態	内 容				
	16	講義	前置詞・接続詞の総合練習文脈に応じた前置詞・接続詞の選択と補充問題				
	17	講義	電話の会話①電話をかける・受けるときの基本表現				
	18	講義	電話の会話②伝言・取り次ぎ・聞き返しなどの実践的表現				
	19	講義	録音メッセージ留守番電話・音声メッセージから必要な情報を聞き取る				
	20	講義	社内メモ短いメモ・連絡文の読解と必要情報の整理				
	21	講義	人物の背景と描写①人物の職業・所属・背景などを説明する表現				
	22	講義	人や物の代名詞②He / she / it / they / them / this / that などの使い分け				
	23	講義	勧誘や依頼の表現①提案・誘い・依頼に使う基本表現				
	24	講義	勧誘や依頼の表現②Can you...? / Would you...? / Shall we...? などの実践				
	25	講義	品詞の使い分け①名詞・動詞・形容詞・副詞の基本的な役割				
	26	講義	同僚との会話・品詞の補充②会話文の文脈から適切な品詞・語句を選ぶ				
	27	講義	身近なラジオ放送④日常的なラジオ放送を聞き、概要・具体的情報を把握				
	28	講義	求人広告と応募の手紙求人広告の読解、応募に関する基本的な英文				
	29	講義	試験対策・最終確認試験形式の演習、TOEIC形式リスニング、重要事項の最終確認				
	30	試験	前期期末試験				
	テキスト・参考図書等		・TOEIC L&Rテスト文法問題 できる1000問 ・TOEICテスト書き込みドリル リスニング編 ・TOEICテスト公式問題集				
評価方法		認定試験、授業内での小テスト等による総合評価 筆記試験70点、小テスト(提出物、授業の積極性含む態度) 20点、出席率10点 合計100点					

※形態は、講義・演習・実習(施設/企業等)

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	英語実務（TOEIC） 1			学科名	ホテル観光・ ビジネス学科	講師名	武田 和子	
時間数	120(30)	単位数	4			実務経験の有無	有	
学年・学期配当		1 年次			2 年次	前期	後期	通期
目的・ねらい		国際語、世界共通語としての英語の運用能力の向上						
授業全体の 内容の概要		TOEICで取り扱っているトピックの多くはビジネスに関連したもので、その学習を通じてより実践的な英語を身につける。また、日常生活において効果的にコミュニケーションをとるベースとなる英語能力を涵養する。						
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		英検3級以上、TOEIC300以上の知識、学習力を目標とする。						
指導計画	回	形態	内 容					
	1	講義	品詞問題①					
	2	講義	品詞問題②					
	3	講義	動詞問題①					
	4	講義	動詞問題②					
	5	講義	前置詞・接続詞問題①					
	6	講義	前置詞・接続詞問題②					
	7	講義	代名詞問題					
	8	講義	前置詞問題					
	9	講義	関係詞問題①					
	10	講義	関係詞問題②					
	11	講義	ペア表現・語法問題					
	12	講義	数・比較問題					
	13	講義	総合文法演習①					
	14	講義	総合文法演習②					
	15	講義	文法模擬テスト・解説					
	テキスト・参考図書等		・ TOEIC L&Rテスト文法問題 での1000問 ・ TOEICテスト書き込みドリル リスニング編 ・ TOEICテスト公式問題集					
評価方法		認定試験、授業内での小テスト等による総合評価 筆記試験70点、小テスト(提出物、授業の積極性含む態度) 20点、出席率10点 合計100点						

※形態は、講義・演習・実習(施設/企業等)

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	英語実務（TOEIC） 1			学科名	ホテル観光・ビジネス学科	講師名	武田 和子	
時間数	120(30)	単位数	4			実務経験の有無	有	
学年・学期配当		1 年次			2 年次	前期	後期	通期
目的・ねらい		国際語、世界共通語としての英語の運用能力の向上						
授業全体の内容の概要		TOEICで取り扱っているトピックの多くはビジネスに関連したもので、その学習を通じてより実践的な英語を身につける。また、日常生活において効果的にコミュニケーションをとるベースとなる英語能力を涵養する。						
授業修了時の達成課題（到達目標）		英検3級以上、TOEIC300以上の知識、学習力を目標とする。						
指導計画	回	形態	内 容					
	16	講義	人物の動作表現（Part1）					
	17	講義	物に関する描写（Part1）					
	18	講義	疑問視を使った疑問文（Part2）					
	19	講義	Yes/No 疑問文・選択疑問文（Part2）					
	20	講義	依頼・提案・申し出（Part2）					
	21	講義	Part1とPart2の復習					
	22	講義	店・ホテルなどでの会話（Part3）					
	23	講義	日常に関する会話（Part3）					
	24	講義	電話での会話（Part3）					
	25	講義	オフィスでの会話（Part3）					
	26	講義	Part3の復習					
	27	講義	アナウンス・広告（Part4）					
	28	講義	ニュース・ラジオ放送（Part4）					
	29	演習	リスニングセクション総合演習					
	30	講義	後期期末試験					
	テキスト・参考図書等		・ TOEIC L&Rテスト文法問題 での1000問 ・ TOEICテスト書き込みドリル リスニング編 ・ TOEICテスト公式問題集					
評価方法		認定試験、授業内での小テスト等による総合評価 筆記試験70点、小テスト(提出物、授業の積極性含む態度) 20点、出席率10点 合計100点						

※形態は、講義・演習・実習(施設/企業等)

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	ビジネス日本語 1			学科名	ホテル観光・ビジネス学科	講師名	堀本 由紀子
時間数	120 (30)	単位数	4			実務経験の有無	有
学年・学期配当		1 年次			2 年次	前期	後期 通期
目的・ねらい		多様なトピック（社会・ニュース・ビジネス・文化）を通して、 内容理解＋批判的思考力を育てる 段階的な思考プロセス（理解→考察→主張）を身につけ、 自分の意見を論理的に表現できる力を養う					
授業全体の 内容の概要		本授業では、教材の構成に沿って、各課を以下の流れで進める： ①導入（テーマ理解） 背景知識の共有・語彙確認 ②読む／聞く（インプット） ・文章読解（ニュース・エッセイ・実用文など） / ・音声理解（同一テーマの別視点） ③内容理解（Step1）→考察（Step2）→主張（Step3） ※「正解を探す授業」ではなく、考えを深める授業にする ※発話・記述の時間を必ず確保					
授業修了時の 達成課題 （到達目標）		■ 読む・聞く B1～B2レベルの文章・音声の要点と論旨を正確に理解できる ■ 考える 内容に対して理由・背景を考察できる					
指導計画	回	形態	内 容				
	1	講義	1 待ち合わせをする（生活）読むP.12／聞くP.98				
	2	講義	9 イベント（ニュース）聞くP.114				
	3	講義	9 イベント（ニュース）読むP.28				
	4	講義	33 動物の気持ち（フィクション）読むP.76				
	5	講義	33 動物の気持ち（フィクション）聞くP.162				
	6	講義	13 トレンド（ニュース）読むP.36				
	7	講義	6 電車を利用する（生活）聞くP.108				
	8	講義	6 電車を利用する（生活）聞くP.108				
	9	講義	6 電車を利用する（生活）読むP.22				
	10	講義	6 電車を利用する（生活）読むP.22 /25 旅の話（エッセイ）聞くP.146				
	11	講義	25 旅の話（エッセイ）聞くP.146				
	12	講義	23 心理学を学ぶ（ビジネス・アカデミック） P.56				
	13	講義	34 童話（フィクション）聞く P.164				
	14	講義	34 童話（フィクション）読む P.78				
	15	演習	34 童話（フィクション）読む P.78 ストーリーコンテスト（創作発表会）				
テキスト・参考図書等		読む聞く考える日本語トレーニング(アスク出版)					
評価方法		グループ活動での参加度、内容の理解度、発表に積極的だったか、Level 2および3を解くためにAIに頼っていないか。以上4点を教員が毎授業確認する。また、学習者には同項目の自己評価表を毎授業提出してもらう。 各回評価40%、発表会パフォーマンス評価(日本語学科のルーブリック評価を使う)30%、試験30%					

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	ビジネス日本語 1			学科名	ホテル観光・ビジネス学科	講師名	津々野 美優
時間数	120 (30)	単位数	4			実務経験の有無	有
学年・学期配当		1 年次			2 年次	前期	後期 通期
目的・ねらい		テーマ別語彙を体系的に習得する 日本語の語彙を「知っている」から「使える」レベルへ引き上げる 慣用句・ことわざ・専門語彙など、実用的な語彙運用力を養う 語彙を用いて、説明・意見・比較ができる表現力を育てる					
授業全体の 内容の概要		本授業では、各課のテーマに沿って以下を行う： 語彙マップ作成(英語・ネパール語・ミャンマー語訳を使用) 文脈の中での使用練習（穴埋め・選択問題） ペア／グループでの例文作成・会話・作文活動 定期的な復習・確認テスト ※毎回、話す or 書く活動を必ず実施 ※ペア／グループで協働学習 1対35にならないように、実習グループ5～6人で取り組ませる。 発表は、学会のパネル発表みたいな形にすると、何度も話す練習になる。					
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		テーマ別語彙（料理・病気・住居・社会など）を適切に使える 語彙を使って、具体的かつ自然な説明ができる （慣用句・ことわざを理解し、会話や文章で使える） （グラフ説明や意見表明など、論理的な表現ができる）					
指導計画	回	日程	内 容				
	1	講義	1 電子レンジでチンする（料理）① 日常生活語彙・動詞の使い分け				
	2	講義	1 電子レンジでチンする（料理）② 日常生活語彙・動詞の使い分け				
	3	講義	2 寒気がする（病気・症状）① 体調表現・医療語彙				
	4	講義	2 寒気がする（病気・症状）② 体調表現・医療語彙				
	5	講義	3 カジュアルな感じ（服装）① 評価語彙・ニュアンスの違い				
	6	講義	3 カジュアルな感じ（服装）② 評価語彙・ニュアンスの違い				
	7	講義	4 発想力が豊か（性格）① 人物評価・性格表現				
	8	講義	4 発想力が豊か（性格）② 人物評価・性格表現				
	9	講義	5 2LDKの高層マンション（住まい）① 住宅・生活語彙				
	10	講義	5 2LDKの高層マンション（住まい）② 住宅・生活語彙				
	11	講義	6 桜が舞う（季節）① 自然・季節語彙／描写表現				
	12	講義	6 桜が舞う（季節）② 自然・季節語彙／描写表現				
	13	講義	7 富士山（世界遺産・名所紹介）① 説明文語彙・観光表現				
	14	演習	7 富士山（世界遺産・名所紹介）② 説明文語彙・観光表現				
	15	試験	前期試験(発表) 世界遺産・名所紹介				
テキスト・参考図書等		日本語語彙力アップトレーニング(アスク出版)					
評価方法		各回小テスト30%、課末タスク(作文・ロールプレイ)30%、試験40%					

※形態は、講義・演習・実習(施設/企業等)

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	ビジネス日本語 1			学科名	ホテル観光・ビジネス学科	講師名	堀本 由紀子
時間数	120 (30)	単位数	4			実務経験の有無	有
学年・学期配当		1 年次2 年次			前期	後期	通期
目的・ねらい		多様なトピック（社会・ニュース・ビジネス・文化）を通して、 内容理解＋批判的思考力を育てる 段階的な思考プロセス（理解→考察→主張）を身につけ、 自分の意見を論理的に表現できる力を養う					
授業全体の 内容の概要		本授業では、教材の構成に沿って、各課を以下の流れで進める： ①導入（テーマ理解） 背景知識の共有・語彙確認 ②読む／聞く（インプット） ・文章読解（ニュース・エッセイ・実用文など） / ・音声理解（同一テーマの別視点） ③内容理解（Step1）→考察（Step2）→主張（Step3） ※「正解を探す授業」ではなく、考えを深める授業にする ※Step2以降はグループワークを行い、グループの意見として代表が発表する。 ※発話・記述の時間を必ず確保、発表はローテーションで全員発表を目指す。					
授業修了時の 達成課題 （到達目標）		■ 読む・聞く B1～B2レベルの文章・音声の要点と論旨を正確に理解できる ■ 考える 内容に対して理由・背景を考察できる ※考察の段階でAIに頼らず、自身の考えを話し合えるグループ活動を行う ※クラスメイトの発表を注意されなくても静かに聞けるようになる					
指導計画	回	形態	内 容				
	16	講義	5 料理を作る（生活）読むP.20 / 聞くP.106				
	17	講義	13 トレンド（ニュース）聞くP.122				
	18	講義	23 心理学を学ぶ（ビジネス・アカデミック）聞くP.23				
	19	講義	21 調べたことの発表（ビジネス・アカデミック）読むP.52				
	20	講義	4 外食をする（生活）聞くP.104 / 読むP.18				
	21	講義	28 大切な人たち（エッセイ）読むP.66				
	22	講義	3 荷物を受け取る（生活）聞くP.102 / 読むP.16				
	23	講義	35 タイムスリップ（フィクション）読むP.80 / 聞くP.166				
	24	講義	14 トラブル（ニュース）聞く P.124 / 7 薬の使い方を確認する（生活）読む P.24				
	25	講義	21 調べたことの発表（ビジネスアカデミック）聞くP.138				
	26	講義	2 本を選ぶ（生活）聞くP.100 / 読むP.14導入（日本の本屋と帯の話）				
	27	講義	2 本を選ぶ（生活）読むP.14				
	28	講義	2 本を選ぶ（生活）読むP.14 発表会のための製作活動				
	29	発表	学年末発表会 練習				
	30	発表 試験	学年末発表会（2/23が休みのため発表のための各自パート練習を宿題とする） グループ発表（各担当箇所を全員が発表する形式）→相互評価あり				
	テキスト・参考図書等		読む聞く考える日本語トレーニング(アスク出版)				
評価方法		グループ活動での参加度、内容の理解度、発表に積極的だったか、Level 2 および3を解くためにAIに頼っていないか。以上4点を教員が毎授業確認する。また、学習者には同項目の自己評価表を毎授業提出してもらう。 各回評価40%、発表会パフォーマンス評価(日本語学科のルーブリック評価を使う)30%、試験30%					

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	ビジネス日本語 1			学科名	ホテル観光・ビジネス学科	講師名	津々野 美優
時間数	120 (30)	単位数	4			実務経験の有無	有
学年・学期配当	1 年次			2 年次	前期	後期	通期
目的・ねらい	・就職やビザ取得に重要な日本語資格である日本語能力試験(JLPT)または日本語検定(JTEST)に向けて自ら学習計画をたて、試験対策ができるようになること。 ・就職活動に必要なビジネス日本語を身に着けること。						
授業全体の 内容の概要	前半は、日本語能力試験(JLPT)に向けて各自の受験級に応じた学習計画を立て、毎週の学習状況を振り返りながら、課題に取り組む。後半は、就職活動に必要なビジネス日本語を、インターンシップ(実習)、就職面接等の具体的な場面を通して学ぶ。ロールプレイ、会話練習、読解・ディスカッションを行い、実際の就職活動に活用できる日本語運用力を身につける。						
授業修了時の 達成課題 (到達目標)	① 自分の日本語力と受験級に応じて学習課題を把握し、学習計画を立て、振り返りながら主体的に試験対策を進めることができる。 ② インターンシップへの応募・参加、就職面接などの場面で、相手や状況に応じた日本語で必要な情報を聞き取り、自分の考えや経験を適切に伝えることができる。						
指導計画	回	形態	内 容				
	16	講義	JLPT対策① 受験までの学習計画を立てる。各受験級の課題に取り組む。				
	17	講義	JLPT対策② 1週間の学習状況を振り返る。各受験級の課題に取り組む。				
	18	講義	JLPT対策③ 1週間の学習状況を振り返る。各受験級の課題に取り組む。				
	19	講義	JLPT対策④ 1週間の学習状況を振り返る。各受験級の課題に取り組む。				
	20	講義	JLPT対策⑤ 1週間の学習状況を振り返る。各受験級の課題に取り組む。				
	21	講義	★JLPT学習計画書提出 1課 インターンシップ情報を得る				
	22	講義	2課 インターンシップに応募する				
	23	講義	ケーススタディ1 カラスの集団?就活ルックって? 読解・ディスカッション ★会話テスト① 90分+45分、1人3分~4分				
	24	講義	3課 インターンシップに参加する1				
	25	講義	4課 インターンシップに参加する2				
	26	講義	ケーススタディ2 「ほうれんそう」って必要? 読解・ディスカッション ★会話テスト② 90分+45分、1人3分~4分				
	27	講義	5課 面接を受ける1				
	28	講義	6課 面接を受ける2				
	29	発表	ケーススタディ2 「ほうれんそう」って必要? 読解・ディスカッション ★会話テスト③ 90分+45分、1人3分~4分				
	30	試験	★会話テスト④ 模擬就職面接 ※試験監督が2名必要 ★提出物 春休み学習計画書作成				
テキスト・参考図書等			中級レベル ロールプレイで学ぶ ビジネス日本語-就職から入社まで-				
評価方法			提出物20%…JLPT学習計画書(12月10日提出)、春休み学習計画書(3月4日提出) 会話テスト80%…会話テスト①~④各回20% ※試験期間中のペーパーテストは行わない。				

※形態は、講義・演習・実習(施設/企業等)

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	実習1（ホテル観光/ビジネス）		学科名	ホテル観光・ ビジネス学科	講師名	牧野 恭一 荒川 宣昭 松本 夕子		
時間数	160				実務経験の有無	有		
学年・学期配当			1 年次		2 年次	前期	後期	通期
目的・ねらい			現場の緊張感やスピード感を肌で感じるによりプロの基準を体感するとともに、現場で使用される専門用語や指示を正確に聞き取る力を養う。					
授業全体の 内容の概要			ホテル実習を通してプロの基準を体感させるとともに、自分の適性と課題を把握させ、課題解決に向けて取り組ませる。また、働くことの喜びと厳しさを理解させることで職業（プロ）意識の醸成を図る。					
授業修了時の 達成課題 （到達目標）			日本の職場に慣れる ①遅刻・欠席をせず、決められた時間を守る。 ②客室清掃やレストランの片づけなど指示された作業を一つずつ覚える。 ③ ①・②を含め、評価表記載項目に基づき評価を行なう。					
指導計画	回	形態	内 容					
	1	事前学習	ホテル実習 オリエンテーション（実習方法について）					
	2	事前学習	ホテル実習 実習の手引き（個人表の作成）					
	3	事前学習	ホテル実習 実習の手引き（個人表の作成）					
	4	事前学習	ホテル実習 実習の手引き（個人計画表の作成）					
	5	事前学習	ホテル実習 実習の手引き（個人計画表の作成）					
	6	事前学習	ホテル実習 実習地事前訪問 ご挨拶					
	7	事前学習	ホテル実習 実習地事前訪問 ご挨拶					
	8	事前学習	ホテル実習 実習地事前訪問 ご挨拶					
	9	事前学習	ホテル実習 実習の手引き（意義・概要について）					
	10	事前学習	ホテル実習 実習の手引き（目標・目的について）					
	11	事前学習	ホテル実習 実習の手引き（心得について 態度・服装・身だしなみ）					
	12	事前学習	ホテル実習 実習の手引き（注意事項の確認・準備 事故発生時の対応等について）					
	13	実習	ホテル実習					
	14	実習	ホテル実習					
	15	実習	ホテル実習					
テキスト・参考図書等			2026年度版 ホテル等実習の手引き					
評価方法			実習の評価 ①評価表（5段階評価）50% ②出欠 50%					

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2026年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	実習1（ホテル観光/ビジネス）			学科名	ホテル観光・ビジネス	講師名	牧野 恭一 荒川 宣昭 松本 夕子	
	時間数	160	単位数			4	実務経験の有無	有
学年・学期配当		1年次			2年次	前期	後期	通期
目的・ねらい		現場の緊張感やスピード感を肌で感じるによりプロの基準を体感するとともに、現場で使用される専門用語や指示を正確に聞き取る力を養う。						
授業全体の内容の概要		ホテル実習を通してプロの基準を体感させるとともに、自分の適性と課題を把握させ、課題解決に向けて取り組ませる。また、働くことの喜びと厳しさを理解させることで職業（プロ）意識の醸成を図る。						
授業修了時の達成課題（到達目標）		日本の職場に慣れる ①遅刻・欠席をせず、決められた時間を守る。 ②客室清掃やレストランの片づけなど指示された作業を一つずつ覚える。 ③ ①・②を含め、評価表記載項目に基づき評価を行なう。						
指導計画	回	形態	内 容					
	16	実習	ホテル実習					
	17	実習	ホテル実習					
	18	実習	ホテル実習					
	19	実習	ホテル実習					
	20	実習	ホテル実習					
	21	実習	ホテル実習					
	22	実習	ホテル実習					
	23	事後学習	ホテル実習 個人学習（学びの整理 ①・②・③作成）					
	24	事後学習	ホテル実習 個人学習（実習の振り返り 1・2・3作成）					
	25	事後学習	ホテル実習 グループ学習（グループ内にて各人が発表）					
	26	事後学習	ホテル実習 報告会（グループ別に代表が発表・その後討論）					
	27	事後学習	ホテル実習 総括（事前・実習・事後学習を終えて）					
テキスト・参考図書等		2026年度版 ホテル等実習の手引き						
評価方法		実習の評価 ①評価表（5段階評価）50% ②出欠 50%						

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）